

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	仙台パワーステーション株式会社		
事業所の名称	仙台パワーステーション		
事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区港一丁目4番1号		
主たる事業	電気業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	当社は、事業活動により排出される温室効果ガスの抑制に努めるなど、地球温暖化対策に積極的に取り組む。 ・地球環境に配慮し、エネルギー消費効率の向上および効果的な使用に努め、エネルギー消費の改善を図る。 ・エネルギーを消費する設備の運転及び保守、点検などに関して、管理標準を設定しこれに準じた管理を行う。		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	66,165 t-CO ₂	基準原単位	0.07388
	目標年度	2022 年度	目標排出量	70,300 t-CO ₂	目標原単位	0.0731
			削減率	-6.25 %	削減率	1.05 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	71,395 t-CO ₂	排出原単位	0.07469
			削減率	-7.91 %	削減率	-1.10 %
	排出量等の増減理由	基準年度より発電電力量が増加したことにより、発電に必要となる所内のエネルギー使用量も増加したため。				
	第2年度	2021 年度	排出量	56,592 t-CO ₂	排出原単位	0.07596
			削減率	14.46 %	削減率	-2.82 %
	排出量等の増減理由	基準年度と比べて大規模定期修繕工事や地震復旧工事等の影響から、発電電力量が減少する一方で、発電所内消費割合が増加のため、原単位の増加、排出量の減少となったもの。				
	第3年度	2022 年度	排出量	66,153 t-CO ₂	排出原単位	0.07985
		削減率	0.01 %	削減率	-8.09 %	
排出量等の増減理由	基準年度と比べて再生可能エネルギーの導入拡大等の影響から、発電電力量が減少する一方で、中間負荷帯での運用が増加したことにより所内消費割合が増加したため、原単位の増加、排出量の減少となったもの。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	100 %	目標年度	100 %
	第1年度	100 %	実施状況の説明等	計画書に記載したとおりの対策が実施できている。
	第2年度	100 %	実施状況の説明等	計画書に記載したとおりの対策が実施できている。
	第3年度	100 %	実施状況の説明等	計画書に記載したとおりの対策が実施できている。

様式第2号別紙1

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	圧縮空気系統の保全管理		実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理		実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理		実施済
	デマンド管理		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	誘引通風機VVVF制御調整による消費電力削減。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	スートブロワー排出蒸気量の削減。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	冷却塔ファン減台運転による消費電力の削減。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	事業に伴い発生する廃棄物について可能な限りリサイクルするよう取り組んでいる。	実施済
	森林の保全・緑化の推進	構内緑地について適切に維持管理を実施している。	実施済
グリーン調達の実施	グリーンマーク製品の購入に努めている。	実施済	